

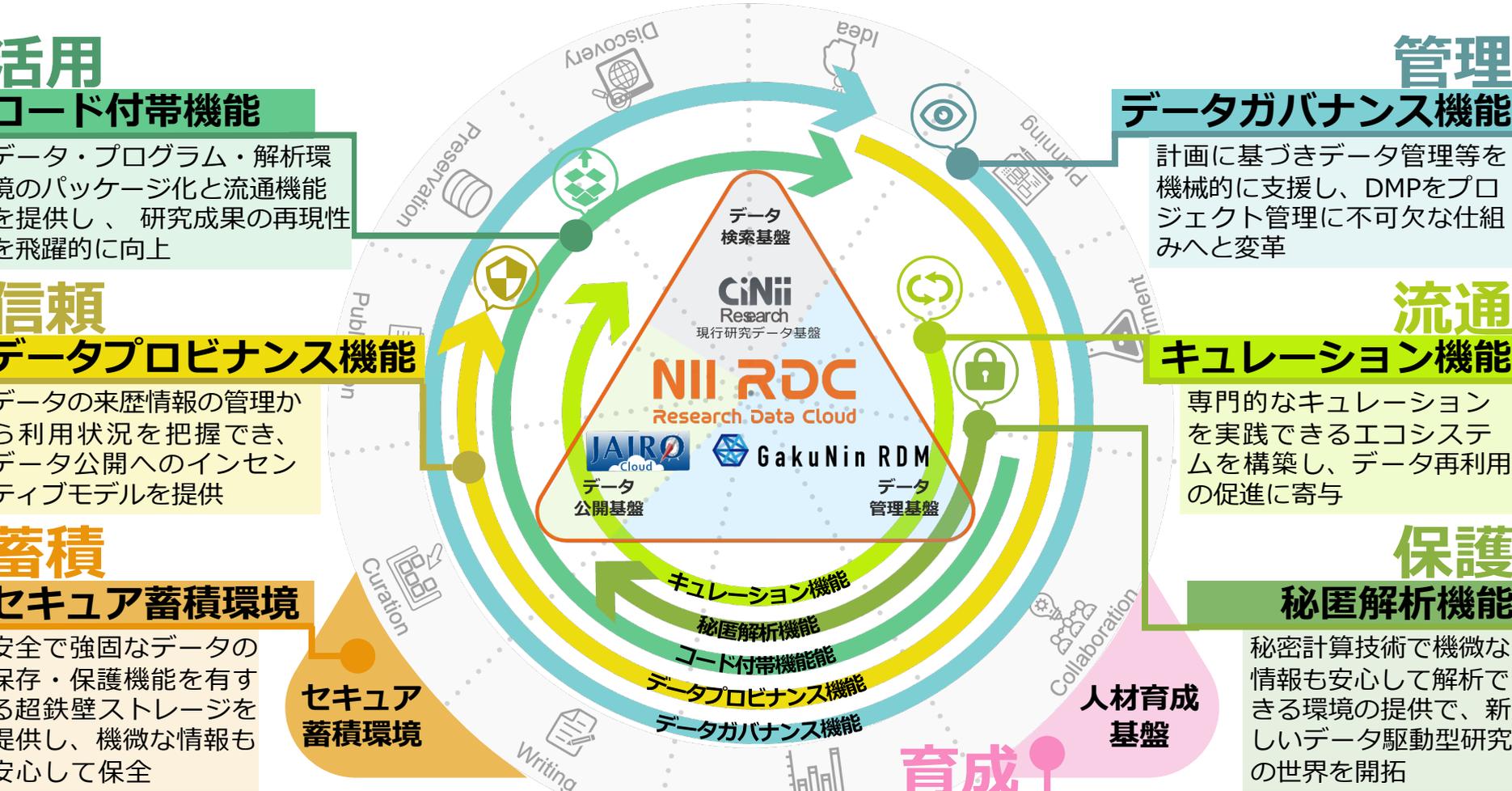
# 本事業で目指すところ NII RDCの高度化

国立情報学研究所  
山地 一禎

研究データエコシステム構築事業シンポジウム2023  
2023年9月28日

# 次世代研究データ基盤としてのNII RDC

NII RDCを7つの側面から高度化・全国展開して研究DXを支援



**活用**  
**コード付帯機能**  
 データ・プログラム・解析環境のパッケージ化と流通機能を提供し、研究成果の再現性を飛躍的に向上

**管理**  
**データガバナンス機能**  
 計画に基づきデータ管理等を機械的に支援し、DMPをプロジェクト管理に不可欠な仕組みへと変革

**信頼**  
**データプロビانس機能**  
 データの来歴情報の管理から利用状況を把握でき、データ公開へのインセンティブモデルを提供

**流通**  
**キュレーション機能**  
 専門的なキュレーションを実践できるエコシステムを構築し、データ再利用の促進に寄与

**蓄積**  
**セキュア蓄積環境**  
 安全で強固なデータの保存・保護機能を有する超鉄壁ストレージを提供し、機微な情報も安心して保全

**保護**  
**秘匿解析機能**  
 秘密計算技術で機微な情報も安心して解析できる環境の提供で、新しいデータ駆動型研究の世界を開拓

**育成**  
**人材育成基盤**  
**人材育成基盤**  
 RDMに必要なスキルを学ぶ環境を提供し、全ての研究者を新しい科学の実践者へと育成

# 本事業を通じて実現すべきこと

- 2016年：研究データライフサイクルを支援する3基盤の必要性（学術会議）
- 2017年：3基盤によるNII RDCの開発開始
- 2020年：NII RDCの有効活用のために機能**高度化**の必要性（学術会議）
- 2021年：3基盤によるNII RDCの運用開始
- 2021年：海外の動向をにらみ**7機能**による**高度化**の具体化
- 2022年：本事業による**高度化7機能**の設計・開発開始

本事業ミッション：NII RDCの**意味のある**高度化と全国展開



現状

★★★☆☆    ★★☆☆☆    ★☆☆☆☆    ★★☆☆☆

・ **各チームからのニーズをいかに実装していくか？**

・ **どれだけ使い勝手の良い基盤にしていくか？**

事業終了

★★★★★    ★★★★★    ★★★★★    ★★★★★

# テーマ 1 (本事業が目指すべきゴール)

---

- 各高度化機能は研究DXに資するもの
  - 高度化機能がどれだけ研究シーンに変革をもたらしているか？
  - NII RDCが、基盤センター、図書館、研推などの業務に変革をもたらしているか？

## テーマ2 (本事業を全国展開する上での課題と方策)

---

- 研究分野にどのようにアプローチできるか？
  - 従来のNIIのチャンネルで機関へのアプローチは比較的容易。
  - NII RDCを研究推進に活用していく上では、分野のアプローチが必須。

**RCOS**  
yamaji@nii.ac.jp